



サ ル ビ ア

～たくさんのよい本に出会えることを願っている～ 伊勢崎市立赤堀東小学校 令和6年7月3日 第31号

夏休みの課題図書について

読書感想文の課題図書が図書室に並んでいます。大人の私から見ると、「こんなに素晴らしい本が自由に読めるなんて、学校とはなんて恵まれた環境にあるのだろう！」と改めて感じます。どの本からも感動や感心がわき起こります。紹介せずにはいられず、特集を組むことにしました。夏休みまで、まだ少々時間があります。人生を変えるようないい本に出会って欲しいと願っています。

| | | | | |
|-------------|--|---|--|---|
| 5 6 年 | 『海よ光れ！』 東日本大震災に見舞われた小学校。しかし、そこから立ち直り、人々を勇気づけようとしたのは、魂をこめた新聞づくりだった。 |  | 『図書館がくれた宝物』 第二次世界大戦中の仔リズ。疎開先で苦労3人兄妹を救ってくれたのは、地域の図書館にある本の数々と司書の女性だった。 |  |
| | 『ぼくはうそをついた』 変わり者のヘローおばあさん。認知症を患い、思い起こされるのは戦争の記憶だった。ぼくは日本に起こった戦争について調べ始める。 |  | 『ドアのむこうの国へのパスポート』 ※今、読んでいる最中です。 |  |
| 3 4 年 | 『さようならプラスチックストーリー』 ストーリーが歴史上どのように生まれ、今社会の中でどのような存在になっているのかを問う。 |  | 『聞いて聞いて音と耳の話』 耳に入った音が、耳の中のどのような組織によって、音として認識されるようになるのかを、分かりやすい絵で解説してくれます。 |  |
| | 『いつかの約束1945』 町で見かけたおばあさん。しかし、頭の中は9歳の女の子。戦争中の辛い思い出に苦しみながらも、平和を強く夢見ていた。 |  | 『じゅげむの夏』 筋ヅストーリーのかっちゃん、今を明るく精一杯楽しむことを望む。来年はもうできないかもしれないという思いをもちながら。 |  |
| 1 2 年 | 『どうやってできるの？チョコレート』 チョコレートの原料から、食べられる形になるまでの話。専門的でもあり、大人も勉強になる。 |  | 『アザラシのアニュー』 自然界で生きることの厳しさや、母子アザラシの愛情を描く。物語のような、ノンフィクションのような素敵なお話。 |  |
| | 『おちびさんじゃないよ』 世の中の間違っていていることに疑問を抱いた女の子が、その小さな体から勇気と正義を発揮する話。 |  | 『ごめんねでてこい』 おばあちゃんに「きらい」って言っちゃった。謝りたいのに出てこない、わたしの中の『ごめんね』 |  |